

令和3年度事業報告



日本赤十字社山梨県支部

目 次

I 支部事業について

- 1 救援活動について 1
- 2 赤十字講習の普及状況について..... 4
- 3 赤十字ボランティアの活動状況について..... 6
- 4 青少年赤十字の活動状況について..... 10
- 5 献血事業について..... 15
- 6 赤十字社旨普及活動について..... 15

II 施設事業

- 1 山梨赤十字病院..... 17
- 2 山梨県赤十字血液センター..... 21

I 支部事業について

1 救援活動について

(1) 災害救護活動

○令和3年度救護員等の派遣要請は無し

(2) 臨時救護活動

・護国神社例大祭 2日 救護員 4名

・東京オリンピック・パラリンピック競技大会 救護員 5名

※(派遣要請があったが、新型コロナウイルス感染症感染防止のため無観客開催となり派遣中止)

(3) 義援金・救援金

ア 義援金

義 援 金 名 称	件 数	金 額
平成30年7月豪雨災害義援金	3件	61,500円
令和2年7月豪雨災害義援金	12件	294,465円
令和3年2月福島県沖地震災害義援金	5件	80,932円
令和3年島根県松江市大規模災害義援金	3件	6,586円
令和3年7月大雨災害義援金	15件	795,017円
令和3年8月大雨災害義援金	16件	911,922円
令和3年台風第9号等大雨災害義援金	4件	147,585円
令和3年長野県茅野市土石流災害義援金	12件	163,690円
令和4年3月福島県沖地震災害義援金	0件	0円
合 計	70件	2,461,697円

○受付が終了した義援金

- ① 令和3年2月福島県沖地震災害義援金(令和3年5月31日受付終了)
- ② 令和3年島根県松江市大規模災害義援金(令和3年5月31日受付終了)
- ③ 令和3年7月大雨災害義援金(令和3年12月28日受付終了)
- ④ 令和3年台風第9号等大雨災害義援金(令和3年12月28日受付終了)
- ⑤ 令和3年8月大雨災害義援金(令和4年3月31日受付終了)
- ⑥ 令和3年長野県茅野市土石流災害義援金(令和4年3月31日受付終了)

イ 救援金等

救援金等名称	件数	金額
NHK 海外たすけあい	362件	5,726,616円
中東人道危機救援金	0件	0円
バングラデシュ南部避難民救援金	1件	19,440円
2021年ハイチ地震救援金	1件	100,000円
アフガニスタン人道危機救援金	2件	30,001円
トンガ大洋州噴火津波救援金	4件	98,294円
ウクライナ人道危機救援金	71件	133,292,732円
合計	441件	139,267,083円

○受付が終了した救援金

- ① 2021年ハイチ地震救援金(令和3年1月30日受付終了)
- ② トンガ大洋州噴火津波救援金(令和4年3月31日受付終了)

(4) 救援物資配分並びに備蓄状況(令和3年3月31日)

品名	配分数	備蓄数	備考
毛布	38枚	5,632枚	
緊急セット	12個	877個	
安眠セット	0個	517個	

* 上記以外に地区区分(市町村)に毛布2,650枚、緊急セット360個の備蓄があります。

(5) 参加訓練・研修会

月日	行事	会場	参加者数
11月14日	甲府市総合防災訓練	甲府市立相川小学校	縮小開催の意向により不参加
11月14日	山梨県地震防災訓練	山梨市役所	防災ボランティア 2 災害対策本部要員 3
11月20日	第2ブロック支部総合訓練 (栃木県支部担当)	とちぎ福祉プラザ	災害対策本部要員 4 救護員 6
1月26日	第2ブロック支部先遣要員訓練 (千葉県支部担当)	Web会議 (学科のみ実施)	第2ブロック先遣要員 2

3月5日	第2ブロック支部被災地支部災対本部運営訓練 (神奈川県支部担当)	中止(新型コロナウイルス感染症感染防止のため)	災害対策本部要員
3月13日	日赤災害医療コーディネート フォローアップ研修会	Web開催	災害対策本部要員 1

(6) 赤十字奉仕団員等災害救護訓練

日 程	10月14日	10月13日	10月22日	10月28日	合 計
地 区 名	峡南地域	富士・東部地域	中北地域	峡東地域	
会 場	市川三郷町生涯学習センター	大月市民総合体育館	甲斐市双葉体育館	山梨市民総合体育館	
奉仕団員	42	36	43	43	164
地区分区職員	8	11	9	4	32
指 導 者	13	14	14	12	53
合 計	63	61	66	59	249

(7) 救護員養成

日本赤十字看護大学

	1学年	2学年	3学年	4学年	合 計
在学生数	1	2	4	3	10

(8) 日本赤十字社看護師同方会山梨県支部

<p>会員数 203名</p> <p>顧問 茂手木 崑美代 // 保 延 登芽子 // 駒 田 元 子 // 吉 原 美 幸 // 伊 藤 誠 司</p> <p>会長 岡 本 理 恵 副会長 清 水 邦 子 // 渡 辺 久 子</p>	<p>○年間活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総 会 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、文書審議 ・役員会の開催 ・山梨県護国神社例大祭での救護所開設(春・秋) ・支部主催事業への協力 ・県市町村等関係行事への協力
--	--

2 赤十字講習の普及状況について

講習実施状況

区 分	短期講習		養成講習		合 計	
	実施回数	受講者数	実施回数	受講者数	実施回数	受講者数
救急法基礎			7	124	7	124
救 急 法	114	3,035			114	3,035
水上安全法	1	100			1	100
雪上安全法						
幼児安全法	16	206			16	206
健康生活支援講習						
防災啓発プログラム	3	53			3	53
合 計	134	3,394	7	124	141	3,518

※本社暫定措置内容に基づき実施いたしました。

(1) 救急法(指導員数93名)

○救急法基礎講習

主 催	月 日	会 場	受講者数
富士吉田市看護専門学校	4月8日	富士吉田市看護専門学校	30
合同会社 VLOO	7月5日	新栄キャンプ場	8
山梨県歯科衛生専門学校	10月12日	山梨県歯科衛生専門学校	48
日本赤十字社山梨県支部	1月8日	山梨赤十字会館	9
帝京福祉専門学校	1月19日	帝京福祉専門学校	10
日本赤十字社山梨県支部	1月28日	山梨赤十字会館	6
日本赤十字社山梨県支部	2月19日	山梨赤十字会館	13

※本社通知に基づき暫定措置内容にて実施

○救急法救急員養成講習

主 催	月 日	会 場	受講者数
日本赤十字社山梨県支部	1月14日 ～15日	中止(新型コロナウイルス感染症感染防止のため)	
日本赤十字社山梨県支部	2月25日 ～26日	中止(新型コロナウイルス感染症感染防止のため)	

(2) 水上安全法(指導員数5名)

○水上安全法救助員養成講習 I

主催	月日	会場	受講者数
日本赤十字社山梨県支部	7月7日 ~9日	中止(新型コロナウイルス感染症感染防止のため)	

(3) 幼児安全法(指導員18名)

○幼児安全法支援員養成講習

主催	月日	会場	受講者数
日本赤十字社山梨県支部	5月11日 ~12日	中止(新型コロナウイルス感染症感染防止のため)	

(4) 健康生活支援講習(指導員7名)

○健康生活支援講習支援員養成講習

主催	月日	会場	受講者数
日本赤十字社山梨県支部	7月1日 ~2日	中止(新型コロナウイルス感染症感染防止のため)	

○災害時高齢者生活支援講習

主催	月日	会場	受講者数
日本赤十字社山梨県支部	6月25日	中止(新型コロナウイルス感染症感染防止のため)	

○健康生活支援講習短期講習(介護教室)

主催	月日	会場	受講者数
日本赤十字社山梨県支部	10月8日	中止(新型コロナウイルス感染症感染防止のため)	

(5) 防災教育セミナー

主催	月日	会場	受講者数
		開催無し	

3 赤十字ボランティアの活動状況について

(1) 地域赤十字奉仕団(5, 338人:令和4年3月31日現在)

(単位:名)

月 日	行 事	会 場	参加者数
5月28日	赤十字奉仕団中央委員会	山梨赤十字会館(Web 会議)	1
9月	赤十字奉仕団山梨県支部委員会	書面開催	—
10月13日	赤十字奉仕団等災害救護訓練(富士・東部地域)	大月市民総合体育館	36
10月14日	赤十字奉仕団等災害救護訓練(峡南地域)	市川三郷町生涯学習センター	42
10月22日	赤十字奉仕団等災害救護訓練(中北地域)	甲斐市双葉体育館	43
10月28日	赤十字奉仕団等災害救護訓練(峡東地域)	山梨市民総合体育館	43
11月26日	日本赤十字社第2ブロック赤十字奉仕団 委員長・支部担当課長会議	山梨赤十字会館(Web 会議)	1
2月25日	赤十字奉仕団委員長研修会	山梨赤十字会館	29

移動献血バスに対する奉仕活動

地区・分区	回 数	参加者数	地区・分区	回 数	参加者数
甲 府 市	3	11	早 川 町	—	—
富 士 吉 田 市	2	6	身 延 町	4	19
都 留 市	2	6	南 部 町	2	6
山 梨 市	3	15	富 士 川 町	4	12
大 月 市	2	4	昭 和 町	3	20
韮 崎 市	2	4	道 志 村	—	—
南アルプス市	9	29	西 桂 町	2	6
北 杜 市	10	15	忍 野 村	2	4
甲 斐 市	5	19	山 中 湖 村	2	6
笛 吹 市	4	16	鳴 沢 村	1	3
上 野 原 市	2	8	富 士 河 口 湖 町	—	—
甲 州 市	5	22	小 菅 村	—	—
中 央 市	4	12	丹 波 山 村	1	3
市 川 三 郷 町	3	10	計	77	256

(2) 青年赤十字奉仕団(7名:令和4年3月31日現在)

月 日	行 事	会 場	参加者数
6月20日	第2ブロック支部青年奉仕団連絡協議会(第1回)	山梨赤十字会館(Web 開催)	1
10月11日	第1回定例会	Web 開催	5
11月 6日	第2ブロック支部青年奉仕団連絡協議会(第2回)	Web 開催	2
12月14日	第2回定例会	山梨赤十字会館 (1名 Web)	6
3月 4日	団員交流会	Web 開催	5

■定例会 随時

(3) 特殊赤十字奉仕団

ア 無線赤十字奉仕団(26名:令和4年3月31日現在)

月 日	行 事	会 場	参加者数
4月10日	総 会	山梨赤十字会館	7
4月10日	信玄公祭りボランティア	中止(新型コロナウイルス感染症感染防止のため)	
6月13日	非常無線通信訓練(島根県)	団員自宅	1
6月27日	非常無線通信訓練(岐阜県)	団員自宅	1
7月11日	非常無線通信訓練(北海道)	団員自宅	1
10月17日	非常無線通信訓練(鳥取県)	団員自宅	1
10月24日	非常無線通信訓練(兵庫県)	団員自宅	1
10月30日	非常無線通信訓練(山口県)	団員自宅	1
10月31日	非常無線通信訓練(山口県)	団員自宅	1
11月 7日	非常無線通信訓練(和歌山県)	団員自宅	1
12月19日	非常無線通信訓練(愛知県)	団員自宅	1
2月25日	赤十字奉仕団委員長研修会	山梨赤十字会館	1

イ 安全赤十字奉仕団(47名:令和4年3月31日現在)

月 日	行 事	会 場	参加者数
4月10日	総会・団員研修会	山梨赤十字会館	3
2月25日	赤十字奉仕団委員長研修会	山梨赤十字会館	1

ウ 救護赤十字奉仕団(28名:令和4年3月31日現在)

月 日	行 事	会 場	参加者数
4月	総会	中止(新型コロナウイルス感染症感染防止のため)	
4月 4日	柔道大会救護活動1	小瀬武道館	1
4月17日	柔道大会救護活動2	小瀬武道館	1
4月25日	柔道大会救護活動3	学院大学樹徳館	1

5月 2日	柔道大会救護活動4	学院大学樹徳館	1
5月12日	柔道大会救護活動5	小瀬武道館	1
5月16日	柔道大会救護活動6	学院大学樹徳館	1
6月 5日	柔道大会救護活動7	小瀬武道館	1
6月 6日	柔道大会救護活動8	小瀬武道館	1
6月12日	柔道大会救護活動9	小瀬武道館	2
6月13日	柔道大会救護活動10	小瀬武道館	2
6月19日	柔道大会救護活動11	小瀬武道館	1
6月27日	柔道大会救護活動12	小瀬武道館	2
7月10日	柔道大会救護活動13	小瀬武道館	1
7月11日	柔道大会救護活動14	小瀬武道館	1
7月18日	柔道大会救護活動15	小瀬アリーナ	2
7月25日	柔道大会救護活動16	小瀬武道館	2
8月 1日	柔道大会救護活動17	小瀬武道館	1
8月 9日	柔道大会救護活動18	小瀬武道館	2
8月10日	柔道大会救護活動19	小瀬武道館	2
9月26日	柔道大会救護活動20	小瀬武道館	1
10月10日	柔道大会救護活動21	小瀬武道館	1
10月16日	柔道大会救護活動22	小瀬武道館	1
10月23日	柔道大会救護活動23	小瀬武道館	1
10月31日	柔道大会救護活動24	小瀬武道館	1
11月14日	柔道大会救護活動25	小瀬武道館	1
11月21日	柔道大会救護活動26	小瀬武道館	1
11月28日	柔道大会救護活動27	小瀬武道館	1
12月 5日	柔道大会救護活動28	学院大学樹徳館	1
12月25日	柔道大会救護活動29	小瀬武道館	1
1月10日	柔道大会救護活動30	小瀬武道館	1
1月16日	柔道大会救護活動31	小瀬武道館	1
1月22日	柔道大会救護活動32	小瀬武道館	1
1月23日	柔道大会救護活動33	小瀬武道館	1
2月25日	赤十字奉仕団委員長研修会	山梨赤十字会館	1

エ 赤十字救援バイクV・Sやまなし(123名:令和4年3月31日現在)

月 日	行 事	会 場	参加者数
4月	総会	文書審議	
2月25日	赤十字奉仕団委員長研修会	山梨赤十字会館	1

オ 青少年赤十字賛助奉仕団(29名:令和4年3月31日現在)

月 日	行 事	会 場	参加者数
6月15日	総会	山梨赤十字会館	6
7月17日	全国青少年赤十字賛助奉仕団協議会総会	Web 会議	1
7月21日	全国青少年赤十字賛助奉仕団協議会 「いとすぎ」第27号原稿執筆	山梨赤十字会館	1
8月 6日	役員会	山梨赤十字会館	1
10月13日	赤十字奉仕団等災害救護訓練	大月市民総合体育館	4
10月13日	役員会	大月市民総合体育館	4
10月14日	赤十字奉仕団等災害救護訓練	市川三郷町生涯学習センター	3
10月22日	赤十字奉仕団等災害救護訓練	甲斐市双葉体育館	4
10月28日	赤十字奉仕団員等災害救護訓練	山梨市民体育館	3
10月28日	第2ブロック研究協議会(山梨県担当)	情報交換結果郵送	1
11月19日	青少年赤十字研究指定公開研究会	大月東中・初狩小・大月東小	3
2月25日	赤十字奉仕団委員長研修会	山梨赤十字会館	1
2月25日	役員会	山梨赤十字会館	7

カ 拡大写本赤十字奉仕団(24名:令和4年3月31日現在)

月 日	行 事	会 場	参加者数
4月	総会	文書審議	
3月16日	教科書納入 国語	山梨赤十字会館	1
3月23日	教科書納入 国語	山梨赤十字会館	1
3月30日	教科書納入 国語・算数・道徳	山梨赤十字会館	1

- 活動日 毎週月曜日 (絵本作成班) (国語5年作成班)
 毎週火曜日 (国語1年作成班)
 毎週水曜日 (道徳等作成班)

(4) 個人ボランティア(令和4年3月31日現在)

- ア 防災ボランティア(個人登録30名・団体登録5団体:251名)
 イ 防災ボランティアリーダー(11名)
 ウ 防災教育指導者(5名)

月 日	行 事	会 場	参加者数
9月10日	防災教育事業主任指導者研修	Web 開催	2
9月28日 ～29日	防災教育事業本社指導者養成研修	Web 開催	1

エ 病院ボランティア(6人:令和4年3月31日現在)

月 日	行 事	会 場	活動日数
4月～3月	初診外来に来られた方への案内等	山梨赤十字病院	1

(5) 赤十字奉仕団指導講師(10人:令和4年3月31日現在)

月 日	行 事	会 場	参加者数
1月21日	山梨市赤十字奉仕団研修会	山梨市民会館	1

4 青少年赤十字の活動状況について

(1) 活動状況

月 日	行 事	会 場	参加者数
4月～7月	新規加盟案内 加盟登録式は中止	各校(園・所)	
4月20日	青少年赤十字指導者協議会総会及び研究会	山梨赤十字会館	指導者 37
5月 日	高校生協議会中止	山梨赤十字会館	メンバー 指導者
6月 5日	リーダーシップトレーニングセンター 指導者養成講習会 WEB 開催	大月東中学校	指導者 篠原 礼哉 1
6月29日	全国指導者協議会総会・研修会 WEB 会議	山梨赤十字会館	指導協会長 宮阪浩二 1
7月 日	青少年赤十字担当者会議(高校・青奉) 中止	山梨赤十字会館	指導者
7月 日	青少年赤十字担当者会議(小・中・青奉) 中止	山梨赤十字会館	指導者
8月 5日 ～ 6日	青少年赤十字リーダー養成トレーニング センター(高等学校)中止	県立愛宕山自然の家	高メンバー 指導者
8月 8日 ～ 9日	青少年赤十字リーダー養成トレーニング センター(小学校・中学校)中止	県立愛宕山自然の家	小メンバー 中メンバー 指導者
8月 日 ～ 日	高校生対象救急法講習会中止	山梨赤十字会館	高校生
8月20日	2B 青少年赤十字指導者協議会総会・研 究集会 WEB 開催	日本赤十字社 2B 各支部	指導者 10

9月6日	山梨県こども赤十字祭り打合せ会	日本赤十字社 山梨県支部	指導者	6
9月30日	指導主事対象青少年赤十字研究会 WEB開催	峡南教育事務所	指導主事 成瀬貴弘	1
10月20日	山梨県こども赤十字祭り中止	県立図書館	メンバー 指導者	
10月29日	青少年赤十字高校生活動実践発表会	山梨赤十字会館	メンバー 指導者	32 16
11月19日	青少年赤十字活動研究指定公開研究会	初狩小・大月東小・大月 東中	参観者	42
12月1日	NHK海外たすけあい オープニングセレモニー中止	NHK甲府放送局	メンバー 指導者	
12月25日 ～26日	青少年赤十字スタディーセンターWEB 開催	身延山高等学校	メンバー 岡田 結	1
2月3日	青少年赤十字メンバー表彰式中止	山梨県立図書館	メンバー 指導者	
2月10日	幼稚園・保育所(園)・認定こども園対象 青少年赤十字研修会中止	山梨赤十字会館	指導者	
3月 日 ～日	高校生対象救急法講習会 中止	山梨赤十字会館	高校生	

(2) 青少年赤十字活動実践推進校・推進園

1	和泉愛児園	自然の中で心と体づくり～健康な体～
2	すみよし愛児園	緑化活動を通じて、人と人とのつながりを感じ、感謝する心や奉仕する心を育む
3	みかさこども園	みんなで野菜を育てることから色々な野菜を好きになって楽しく食べる
4	押原こども園	様々な命と向き合おう
5	つつじが崎学園	花いっぱい運動
6	相川小学校	気づき、考え、自ら行動する児童の育成
7	新紺屋小学校	キラキラ生活 ニコニコ活動 ハッピー交流
8	甲運小学校	かがやけ！！2021 こううん 5輪の輪
9	国母小学校	『喜色満面』～いつでもマスクの下は、笑顔いっぱい～
10	羽黒小学校	一致団結 光り輝く 笑顔の羽黒っ子
11	湯田小学校	スマイル 児童会で取り組む「気づき・考え・実行する」
12	武川小学校	思いやりの心を育み実践に生かそう

13	若草南小学校	自分の考えを持ちチャレンジしよう。人の痛みが分かる思いやりのある子供になろう。
14	芦安小学校	「郷土を愛する心と夢を育み、未来を拓く人づくり」
15	後屋敷小学校	心身ともに健康で 人間性豊かな たくましい子ども育成
16	山梨小学校	人間性豊かに心身ともに健康で、たくましく学んでいく子供の育成
17	日下部小学校	自ら学び、心豊かで、たくましく生きる児童の育成
18	八幡小学校	「生きる力を支える確かな学力の育成」
19	神金小学校	自然や生命に対する畏敬の念を持ち、それを大切に作る心と実践力を育てる
20	菱山小学校	小規模校のよさを生かした奉仕と親善の精神を育成する
21	東雲小学校	集い・学び・進む学園
22	松里小学校	地域の特色を生かした青少年赤十字活動
23	勝沼小学校	小規模校のよさを生かした奉仕と親善の精神を育成する
24	上野小学校	みんなちがってみんないい 福祉について考えよう
25	大塚小学校	安心安全な学習環境づくりを通して生きる力を育む
26	市川南小学校	自ら考え、共に行動できる児童を育成する
27	増穂南小学校	思いやりの心を持ち 明るく優しい子の育成
28	早川北小学校	自ら学ぶ 明るく たくましい子どもの育成
29	甲府南中学校	気づき考え実行する生徒の育成
30	八田中学校	環境美化奉仕作業を通して生徒の心を育てるとともに、人のために尽くす活動を行う
31	松里中学校	心豊かに、よりよい自分をめざし学び合う生徒の育成
32	笛川中学校	他人を思いやり地域の方に恩返しをする
33	白州中学校	自助・共助のための実践的防災教育を推進し、人道教育へとつなげる
34	武川中学校	自ら考え意欲的に学び伝え合う生徒の育成
35	石和中学校	ボランティア活動を通して「気づき・考え・実行する」生徒を育成する
36	三珠中学校	心豊かで、確かな学力を持ち、主体的に活動する生徒の育成
37	市川南中学校	「気づき・考え・実行する」生徒の育成
38	北杜高等学校	「健康・安全」「奉仕」
39	韭崎工業高等学校	あけぼの支援学校との交流
40	笛吹高等学校	「貢献」「～学校・地域から～
41	日川高等学校	地域や関連団体と連携したボランティア活動の推進
42	上野原高等学校	地域社会の問題に目を向け、感染症とその対策、防災減災、また差別偏見のない社会について学ぶ
43	都留興譲館高校	社会問題と地域貢献～気づき・考え・実行する～

44	身延山高等学校	東日本大震災被災地訪問
45	かえで支援学校	つながる心～奉仕活動を通して～

(3) 青少年赤十字加盟校・園(所)

幼稚園・保育園・こども園(37園)	勝山小学校	猿橋中学校
貢川進徳幼稚園	上野原西小学校	秋山中中学校
城北幼稚園	島田小学校	白州中学校
進徳幼稚園	豊小学校	田富中学校
聖愛幼稚園	田富小学校	一宮中学校
つつじ幼稚園	田富北小学校	上野原西中学校
上野原幼稚園	田富南小学校	東桂中学校
市川南幼稚園	初狩小学校	山中湖中学校
忍野幼稚園	東桂小学校	甲西中学校
甲府あら川保育園	猿橋小学校	八田中学校
池田保育園	善誘館小学校	小菅中学校
和泉愛児園	楡形西小学校	玉穂中学校
かほる保育園	落合小学校	松里中学校
くだま保育園	秋山小学校	西桂中学校
甲運第一保育所	竜王南小学校	大月東中学校
すみよし愛児園	竜王東小学校	南西中学校
玉諸保育所	敷島小学校	若草中学校
中央保育所	井尻小学校	芦安中学校
中道保育所	松里小学校	早川中学校
ファミリー・ドゥ・フール保育所	早川北小学校	山梨南中学校
北新保育所	七保小学校	山梨北中学校
宮前保育園	韭崎小学校	上野原中学校
白州保育園	芦安小学校	都留第一中学校
泉保育園	白根飯野小学校	白根御勅使中学校
内野保育所	竜王西小学校	玉幡中学校
忍草保育所	一宮南小学校	押原中学校
後屋敷保育園	市川東小学校	勝山中中学校
岩手保育園	日川小学校	楡形中学校
山梨保育園	玉宮小学校	塩山北中学校
八日市場保育園	早川南小学校	石和中学校
八幡保育園	道志小学校	御坂中学校
窪平保育園	若草南小学校	三珠中学校

みかさこども園	敷島南小学校	増穂中学校
押原こども園	玉幡小学校	道志中学校
なでしここども園	韮崎北東小学校	竜王北中学校
つつじが崎学園	笛川小学校	笛川中学校
第2なでしここども園	塩山南小学校	市川南中学校
認定こども園すみれ保育園	塩山北小学校	市川中学校
小学校(78校)	東雲小学校	高等学校・特別支援(23校)
湯田小学校	大月東小学校	甲府南高等学校
朝日小学校	新紺屋小学校	北杜高等学校
里垣小学校	大藤小学校	韮崎工業高等学校
相川小学校	神金小学校	笛吹高等学校
国母小学校	勝沼小学校	増穂商業高等学校
北新小学校	一宮西小学校	峡南高等学校
甲運小学校	一宮北小学校	身延高等学校
大里小学校	御坂東小学校	吉田高等学校
羽黒小学校	上野小学校	富士北陵高等学校
石田小学校	大塚小学校	都留興譲館高等学校
新田小学校	市川小学校	上野原高等学校
大国小学校	市川南小学校	甲斐清和高等学校
舞鶴小学校	増穂南小学校	身延山高等学校
双葉東小学校	上野原小学校	甲府工業高等学校
明野小学校	六郷小学校	青洲高等学校
泉小学校	中学校(46校)	日川高等学校
小淵沢小学校	甲府南中学校	都留高等学校
武川小学校	上条中学校	盲学校
日下部小学校	明野中学校	かえで支援学校
後屋敷小学校	泉中学校	やまびこ支援学校
山梨小学校	武川中学校	桃花台学園
八幡小学校	勝沼中学校	梨大附属特別支援学校
岩手小学校	春日居中学校	わかば支援学校
菱山小学校	忍野中学校	
合計 184校・園		

(4) 青少年赤十字研究指定事業

平成30年度～令和元年度 武川小学校 武川中学校
令和元年度～令和2年度 早川南小学校 早川北小学校 早川中学校
令和2年度～令和3年度 初狩小学校 大月東小学校 大月東中学校
令和3年度～令和4年度 一宮西小学校 一宮南小学校 一宮北小学校 一宮中学校

(5) 義援金・救援金等への協力

☆国内義援金 2校(園)

和泉愛児園保護者会、竜王中学校

☆NHK 海外たすけあい 14校(園)

和泉愛児園、池田保育園、押原こども園、みかさこども園、つつじが崎学園、朝日小学校、日下部小学校、日川小学校、八幡小学校、一宮南小学校、早川南小学校、北杜高校、北杜高校ギター部、甲斐清和高校

☆ウクライナ人道危機救援金 2校

石和中学校、市川南中学校

★寄付金(支部活動資金)

協力加盟校 3校

湯田小学校 泉小学校 白州中学校生徒会

5 献血事業について

血液製剤の安定供給体制を確保するために献血キャンペーンを実施し、県民の方々に献血に関する理解と協力を求めました。

キャンペーン名	月 日	会 場
愛の血液助け合いキャンペーン	令和3年7月11日(日)	イオンモール甲府昭和店
はたちの献血キャンペーン	令和4年1月 9日(日)	イオンモール甲府昭和店

6 赤十字社旨普及活動について

(テーマ)『人間を救うのは、人間だ。 Our world. Your move.』

支部・病院・血液センターによる運動展開

(1) 広報活動

○赤十字運動月間 2021 の実施

・甲府駅ビルに懸垂幕の掲出

・赤十字運動月間「レッドライトアッププロジェクト 2021」の実施

- 報道各社協力によるPR活動
- 「赤十字やまなし」(事業報告兼広報)山梨県下全世帯30万部配布
- ホームページによる情報発信
- 市町村広報誌の協力によるPR活動

(2) 日本赤十字社山梨県有功会

役員名

会 長	高野孫左エ門
副会長	進藤 中
	鬼頭 芳雄

会員数 267 名・社 (個人84名・法人183社)

年間行事

総会の開催(新型コロナウイルス感染症の蔓延状況に鑑み書面開催)

仲間づくり運動と会員募集運動の推進

支部事業への協力(救急法等普及啓発活動への協力)

II 施設事業について

1 山梨赤十字病院

令和3年度は新型コロナウイルスに始まり新型コロナウイルス変異株に終わった年であった。全国的に感染拡大が深刻化し、8月には第5波、翌年1月には第6波の感染拡大が発生、全国的に蔓延防止等措置、緊急事態宣言が発令され医療機能の逼迫した状況が長期にわたり発生した。

県内においても感染者数が急激に拡大、第6波では感染症レベルが最高フェーズ5に引き上げられた。

重点医療機関の当院は感染状況が拡大するなか新型コロナウイルス感染症対応病床13床から急性期一般病棟54床を閉鎖し新型コロナウイルス感染症専用病棟30床に変更して新型コロナウイルス感染症患者受入数を拡大させた。

致命的となる院内感染暴露による病院閉鎖をきたさないため来院患者への感染予防の啓発、疑い患者の迅速検査、また職員間の感染防止のため一丸となり私生活においても徹底した感染予防に打ち込み、感染被害は最小限に抑えられた。

自治体への協力として富士河口湖町、鳴沢村より住民の新型コロナウイルスワクチン集団予防接種業務を受託、5月～11月までに住民の約90%が2回接種を終了した。しかし、新たな変異株のオミクロンの蔓延で今年2月より3回目接種と14歳以下への接種が開始され年度末までで約65,000回の接種回数となっている。

同時に当地で2020東京オリンピック自転車ロードレース競技、パラリンピック自転車競技が行われ大会指定医療機関としての役割も大きな問題もなく終了することが出来た。

病院経営においては、新型コロナウイルス感染症によって驚異的な受診抑制がおり、患者側と医療ニーズに大きなギャップが生じ病院の医療需要は減少した。医業収益はコロナ発生前の年度と比較すると5%の減収となり医業収支では2年連続の赤字となる。

この状況下で国が進める3の改革、①地域医療構想の実現、②医師、医療従事者の働き方改革、③実行性のある医師偏在対策などに対し、前年度度から積極的に取り組み当院は地域で必要とされる病院、また安定的な経営を維持するため未来を見越した変革を実践している。

令和3年度の病院活動の概要は以下のとおりです。

○ 医療供給体制

(1) 新型コロナウイルス感染症への対応

(感染患者の入院受入れ)

新型コロナウイルス感染症の重点医療機関としてフェーズに臨機応変に対応した病床数の確保に努め、令和3年度は2,227人の入院患者を受け入れた。

(発熱外来)

発熱者外来を一般外来との導線を別に設置して常時 PCR 検査、抗原定量検査のできる体制を維持し、令和3年度は1,518人の感染疑い患者の検査を実施した。

(ワクチン接種業務支援)

新型コロナウイルスワクチン接種の支援対応として4月より富士河口湖町、鳴沢村の住民への集団予防接種を開始。会場へ職員を派遣、住民1人3回の接種と今年2月より14歳以下～5歳までの児童への接種を開始し延べ65,000回の接種回数を超えた。

また院内での職域接種(医師会、歯科医師会、薬剤師会、救急隊等)を開始し令和3年度では1,570回の接種回数となった。

(宿泊療養施設からのオンコール対応)

宿泊療養施設での療養中の患者の病状悪化時の対応として、医師の24時間のオンコール体制に協力病院として参加し令和3年度は64件の対応を行った。

(医師・看護師の他施設への派遣対応)

県内2ヶ所の介護療養施設内での感染が発生、スタッフ感染拡大もあり人員不足を補う対応として看護師9人の派遣を実施した。

第6波の感染拡大により宿泊療養施設が満床状態となり病状悪化する患者の対応として医師延べ31人、看護師延べ4人の派遣を実施、点滴治療、酸素投与などの医療行為を行い入院患者の調整を図った。

(2) 医師、医療従事者の働き方改革への対応

労働法規の改正により2024年4月以降「医師の年間の時間外労働960時間以下」が義務付けられ医師の労務管理の徹底、労働時間短縮を目的とした連続勤務時間制限や勤務間インターバルなどの健康管理等の措置を含めた対応が施設管理者に求められる。当院は令和2年度より改善対応として変形労働制を導入し、宿日直業務を勤務への変更を実施してインターバルとして振替休日の取得とし、年10日以上の有給休暇の取得率も向上した。

令和3年度は半年で交代する後期研修医が増加したこと、入院、外来患者数の減少等の影響で年間の時間外労働960時間を超える医師はいなかった。

(3) 後期研修医の受入れ

医師の働き方改革を進めていく上で医師を確保することが最重要課題である。そのためには、新専門医制度が開始されるなか基幹病院である大学と実地研修を行う受入病院との密な連携が重要であり当院は研修体制を整備し、初期研修・後期研修の研修医の受入を積極的に進めている。

令和3年度の後期研修医は4名増員で計9名となり、全体医師数37名となり医師の労働環境は

改善されてきた。

(4) 山梨県地域医療構想に向けた取り組み

厚生労働省は中長期的な人口減少・高齢化の進行を見据えつつ、今般の新型コロナウイルス感染症への対応により顕在化した地域医療の課題への対応を含め、地域の実情に応じた質の高い効率的な医療供給体制を構築する必要があるとして、地域医療構想の実現を図る観点から、地域医療構想調整会議の合意を踏まえて行う自主的な病床削減や病院の統合による病床廃止に取り組む際の財政支援を実施する。

全国の医療機関はコロナ禍で入院・外来患者数は受診抑制等のため大幅に減少し財政悪化に陥っている。当院は構想区域内の医療機関の動向や医療ニーズの変化をリサーチし、病床の削減等も視野にいれ機能転換の推進を図り医療ニーズに合わせた病棟再編、外来機能の再構築を順次進める。

○ 赤十字施設としての取り組み

(1) 災害救護活動等への参加

近年は台風、豪雨、日照不足、猛暑、豪雪などの多くの異常気象、自然災害が発生している。令和3年度では大きな災害はなかったが、新型コロナウイルス感染症蔓延のため主だった災害訓練は中止された。現況では富士・東部医療圏の新型コロナウイルス感染症による医療崩壊を防ぎ、感染の状況に応じた医療体制を確保し、地域住民の生命及び健康を保護するため、感染症の発生状況に応じた対策を実施、医療連携を強化し感染拡大を抑える努力を行っている。

(2) DMAT 要員の育成と活動の充実

頻発する自然災害に対する対応、新たに新型コロナウイルス感染症の対応など様々なケースに適時対応できる DMAT 隊の体制整備を図る。新型コロナウイルス感染症の蔓延で山梨県医療対策本部設置、DMAT による入院先調整が開始され当院からも DMAT 隊(医師、看護師)を派遣し対応にあたった。また施設内クラスターが発生し機能不全に陥った施設へ DMAT 隊(看護師)を派遣し対応にあたる。

今年度は、災害医療活動のみではなく感染症対応技術の習得を含めた DMAT 要員の教育訓練を実施した。

(3) 日赤救護班の充実

令和3年度はコロナ禍で小規模に行われた日赤東部ブロック訓練へ参加した。DMAT と共同での活動が可能になるよう院内講習会を行った。

(4) BCP(医療継続計画)

大規模災害や緊急事態が発生した場合、院内資産の損害を最小限に留め、入院患者の安全確保や病院機能の早期回復を図るために緊急時の対策や手段を予め取り決めた医療継続計画に基づき医療業務を行う。今年度は富士山噴火ハザードマップが改正されたため、新たに BCP の内容を見直すことを開始している。

2 山梨県赤十字血液センター

日本赤十字社では、平成 24 年度より血液事業の運営体制を広域化し、全国を 7 つのブロックに分け都道府県の枠を超えての需給体制を構築しており、「効率的な事業運営」、「血液製剤の安全性の向上」及び「安定供給の確保」が図られているところです。

山梨県赤十字血液センターについては、関東甲信越ブロック(1 都 9 県)とともに血液法や薬機法などの関係法令を遵守した事業管理体制を構築して事業に取り組んでおります。

(1) 血液製剤の安定供給

令和 3 年度は、赤血球製剤は前年度比 0.5%減少、血漿製剤は 4.1%減少、血小板製剤は 23.3%増加しました。全体としては 9.6%増の供給となりました。

赤血球製剤は、前年度並みの供給数でした。前年度と同様に新型コロナウイルス感染症の全国的な蔓延状況に呼応する形で供給数が上下に振れましたが、感染拡大時の供給数の低下は限定的でした。しかし、近隣の都県における緊急事態措置が解除された後の 11 月と 12 月は大きな増加が見られました。

血漿製剤は、前年度に比べ減少しましたが、直近の 3 年間は 12,500～13,000 単位付近で推移しています。

血小板製剤は、主要医療機関における血液内科の病床数の増加と、それに伴う造血幹細胞移植症例の増加に伴い大幅に増加しました。

このように、赤血球製剤は上下動が激しく、血小板製剤は大きな増加が見られましたが、1週間を基軸とした綿密な需要予測と広域需給管理体制のメリットを最大限に生かすことにより、過不足のない安定した供給ができました。

供給実績 (200mL 献血由来製剤を 1 単位とする)

区分	全血製剤	赤血球製剤	血漿製剤	血小板製剤	合計
令和 2 年度実績	0	38,986	13,020	41,805	93,811
令和 3 年度実績	0	38,780	12,489	51,560	102,829
前年比	0%	99.5%	95.9%	123.3%	109.6%

(2) 献血者確保状況

令和 3 年度は、前年に引き続き、コロナ禍における献血者確保となり、山梨県及び周辺都県にまん延防止等重点措置が適用となった時期は、献血バスの受入れ先が中止となるなど、厳しい状況でした。

また、こちらも前年に引き続き、山梨県での必要な献血量に加え、コロナ禍で減少した首都圏の献血量を補うために、コロナ禍以前より献血の目標量が増加しています。

これに対し、市町村献血やショッピングモールでの臨時的献血の実施、企業では年間の献血回数を複数回にさせていただく、献血経験のある方へのハガキ・メールによる依頼などを行うことで、必要な献血量を確保できました。

献血ルームでは、開所以来最多となった令和2年度と遜色のない21,432名の協力がありました。コロナ禍での「新たな献血のかたち」である予約献血は、献血ルームで多くの方に利用されており、その有用性から、毎月、成分献血の予約者限定日を設け、献血者より好評を博しています。献血バスの会場でも予約献血を推進しており、徐々に予約献血が浸透しつつあります。

コロナ禍で受け入れていた200mL献血も、令和3年度は医療機関の需要に見合うよう、400mL献血を推進した結果、400mL献血者の全血献血に占める割合は、95.6%とコロナ禍以前の水準に戻りつつあります。

若年層献血の推進については、新型コロナウイルス感染症の影響により、一部の高校・大学での献血が中止となったものの、概ね献血を実施することが出来ました。また、献血の重要性を高校生に知ってもらうための献血セミナーは、密を避けて体育館で実施する、クラス毎に入れ替わりで実施する、リモートで行うなど、工夫しながら実施することが出来ました。

採血実績

(単位:人)

区分	200mL	400mL	成分	合計	計画人数	計画比
移動採血	995	15,937	0	16,932	16,229	104.3%
献血ルーム	98	7,665	13,669	21,432	18,084	118.5%
合計	1,093	23,602	13,669	38,364	34,313	111.8%

(3) 輸血用血液製剤の安全対策

従来から実施している献血受け入れ時の献血者の本人確認の実施など、「安全性の向上」に向けた8項目の対策を適切に実施しました。

また、新型コロナウイルスのワクチンを接種された方の献血の受け入れ基準が決定されるなど、コロナ禍における献血についても適切に実施しています。

(4) 各種キャンペーン・イベントの推進

新型コロナウイルス感染防止の観点から、献血会場でのイベント規模を縮小しながらも、若年層献血・複数回献血の推進に努め、成分献血・400mL献血の理解促進に主眼をおいたキャンペーンを実施しました。

実施月日	キャンペーン名	場所	内容	献血者数
7月11日	愛の血液 助け合い運動 街頭献血 イベント	イオンモール 甲府昭和	街頭献血イベント	73人
8月21日	ヴァンフォーレ甲 府応援献血	小瀬スポーツ公園	街頭献血イベント	39人

12月26日	全国学生 クリスマス献血 キャンペーン	イオンモール 甲府昭和	学生推進協議会による 街頭献血イベント	66人
12月20日 ～ 1月3日 12/31と 1/1を除く	ハートフル・ コネクション キャンペーン	献血ルーム イオンモール 甲府昭和 笛吹市役所、他	献血ルーム及び移動採血車 での献血キャンペーン	1,249人
1月9日	はたちの献血 街頭献血 イベント	イオンモール 甲府昭和	街頭献血イベント	68人
2月23日	ふじさん献血	献血ルーム イオンモール 甲府昭和	静岡県赤十字血液センター との合同献血イベント	148人
3月1日～ 4月15日	「ゆるキャン△」 「mono」×献血コ ラボキャンペーン		ポスター・クリアファイルの作 成・配付、献血啓発	
通年	行こう！献血		各種キャンペーン、 CM 放送による若年層への 献血啓発	
通年	VF甲府との コラボ企画		ポスター・クリアファイルの作 成・配付、献血啓発	

(5) 医薬情報活動

① 医療機関への情報提供

輸血用血液製剤に関する情報提供について、下表のとおり情報媒体を県内医療機関へ配付しました。また、輸血管理部門担当者や医師・看護師等を対象とした説明会や医療機関の理解を得て院内輸血療法委員会へ出席し、情報提供をしました。

お知らせ

発行年月	内容
2021年7月	血液製剤等に係る遡及調査ガイドラインの一部改正について
2021年9月	輸血用血液製剤の添付文書改訂のお知らせ
2022年1月	添付文書の製品への同梱廃止について

輸血情報

発行年月	内 容
2021年7月	2021年7月特別号 血液製剤発注システム及びメール配信サービスについて
2021年9月	2109-174 輸血用血液製剤との関連性が高いと考えられた感染症症例－2020年－
2021年9月	2109-175 赤十字血液センターに報告された非溶血性輸血副作用－2020年－

②医療機関との連携

医療機関との連携による輸血副作用情報の収集について、8施設から149件を収集しました。

③看護師対象の輸血基礎セミナーの開催

県内医療機関における輸血医療の向上を目的として看護師対象の輸血基礎セミナーをオンラインで開催しました。

開催年月日	内 容	参加者
2021年9月28日	講演 「安全な輸血のための基礎知識」 実習 「輸血セットの取り扱い」(希望者のみ)	22施設 58名

④医療機関での説明会・輸血療法委員会への参加

輸血管理部門担当者や医師・看護師等を対象とした院内説明会を8回開催しました。また、医療機関の理解を得て院内輸血療法委員会へ3施設出席しました。

⑤医療機関との連絡調整会議の開催

山梨県では「山梨県合同輸血療法委員会」を設置し、血液製剤の適正使用の推進及び安全な輸血医療の確保に取り組んでおり、血液センターも委員として参加し協力しました。

開催年月	会議名	内 容
2021年 7月	山梨県合同輸血療法委員会 (オンライン)	令和2年度事業報告について 令和2年度当県の現状について 令和3年度事業計画案について
2021年 7月	第1回 I&A委員会 (オンライン)	相互視察後の対応の確認 今年度の活動計画について

開催年月	会議名	内 容
2021年 12 月	山梨県合同輸血療法委員会 委員長会議 (オンライン)	令和2年度事業報告及び令和3年度事業 内容について 当県の輸血に関する状況について コロナ禍における輸血状況 山梨県赤十字血液センターからのお知らせ
2022 年2月	第2回 I&A委員会 (オンライン)	相互視察に向けて指摘事項等の確認
	第3回 I&A委員会 (オンライン)	相互視察に向けて指摘事項等の確認
	I&A 委員会相互視察	相互視察(対象:山梨県立中央病院)
2022 年3月	血液製剤の需給に係る連絡会議 (オンライン)	院内監査実施状況について(情報共有) I&A 委員会からのお知らせ 輸血副作用の対応について 血液センターからのお知らせ

⑥山梨輸血研究会

山梨輸血研究会は、県内輸血医療関係者で構成されている研究会で、血液センターが事務局をしています。輸血医療の向上と情報交換を目的とし、研究会の開催や会報の発行、ホームページの管理を行っています。

今年度は新型コロナウイルス感染症流行により開催日を3月から5月に延期し、感染症対策を施しながら、現地とオンライン配信のハイブリッド形式で開催しました。

第 37 回 山梨輸血研究会総会	開催日:令和4年3月5日(土) →5月21日(土)に変更 開催方法:ハイブリッド形式 場所:山梨大学医学部 臨床講義棟小講堂 Zoom ミーティング 一般演題:4題 特別講演:「日本赤十字社の血液事業を振り返って -26年間の歩み」 関東甲信越ブロック血液センター 顧問 中島 一格 先生
---------------------	--

(6)骨髄バンクへの協力状況

- ①ドナー(骨髄提供希望者)登録受入及び検体採血
- ②ドナー登録会への協力
- ③令和4年 3 月末現在 県内有効登録者数 2,245 人 全国 537,820 人

(7)会議、研修会等の開催と参加

新型コロナウイルス感染症の対策を行ったうえで、実施可能な範囲内で県や献血関係諸団体等と連携し、研修会等を開催しました。

* 諸会議

実施月日	会議名	場 所	内 容
4月27日	山梨県献血推進協議会総会	山梨県立青少年センター	事業報告及び山梨県献血推進計画(案)の協議、献血及び供給の現状の説明
5月28日	血液事業推進会議・市町村血液事業担当者会議	山梨県防災新館	事業報告及び山梨県献血推進計画の説明、献血及び供給の現状の説明、講話:がんの治療と輸血
11月26日	ライオンズクラブ国際協会 330-B 地区と赤十字血液センター合同会議	ベルクラシック甲府	血液事業の現状及び今後のお願、献血活動について(事例発表)
文書審議 3月28日	血液事業推進会議		山梨県献血推進計画(案)について、献血・供給の状況及び計画について、献血団体名簿について、各保健福祉事務所の献血推進状況について

* 研修会等への参加

実施年月日	研修会名	会 場	参加人数
7月15日	ライオンズクラブ研修会	山梨ライオンズクラブ例会	25人
7月21日	ライオンズクラブ研修会	甲府南ライオンズクラブ例会	15人
8月5日	日医産業医実地研修会	山梨県医師会館	30人
10月13日	ライオンズクラブ研修会	都留ライオンズクラブ例会	30人
10月28日	ライオンズクラブ研修会	富士吉田中央ライオンズクラブ例会	30人
12月1日	日医産業医実地研修会	山梨県医師会館	20人
12月2日	ライオンズクラブ研修会	南アルプスライオンズクラブ例会	55人
12月7日	ライオンズクラブ研修会	塩山ライオンズクラブ例会	18人
3月10日	ライオンズクラブ研修会	竜王ライオンズクラブ例会	12人

* 若年者献血セミナー事業

実施月日	研修会名	会 場	参加人数
6月14日	献血に関するセミナー	私立第一学院高等学校甲府キャンパス	20人
6月23日	献血に関するセミナー	私立身延山高等学校	26人
8月27日	献血に関するセミナー (WEB)	山梨県立大学池田キャンパス (リレーフォーライフジャパン 2021 甲府会場)	19人
11月24日	献血に関するセミナー	県立身延高等学校	80人
12月3日	献血に関するセミナー	県立白根高等学校	119人
12月6日	献血に関するセミナー	県立上野原高等学校	104人
12月8日	献血に関するセミナー	県立塩山高等学校	101人
12月9日	献血に関するセミナー	県立市川高等学校	140人
12月10日	献血に関するセミナー	県立甲府城西高等学校	248人
12月16日	献血に関するセミナー	県立農林高等学校	140人
1月19日	献血に関するセミナー (リモート)	県立甲府工業高等学校	272人

(8) 献血推進功績者に対する表彰

① 第57回献血運動推進全国大会

令和3年9月9日に鹿児島県にて開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響で中止となりました。献血推進に功績のあった厚生労働大臣表彰(1団体)、厚生労働大臣感謝状(3団体)は、後日個別に表彰されました。

② 献血感謝のつどい in 山梨

新型コロナウイルス感染症の影響で中止となりました。献血推進に功績のあった山梨県知事表彰(7団体)は、後日個別に表彰されました。山梨県知事表彰(10個人)、日本赤十字社表彰(金色有功章57名・銀色有功章59名)は発送をもって表彰に替えております。

③ 多回献血者顕彰(献血現場にて記念品を贈呈)

献血回数	10回	819名
	30回	307名
	50回	168名
	50回以上※	37名
合 計		1,331名

※令和2年11月より献血者顕彰規定が改正されました。